

県立学校改革推進プランに係る評価

(平成 25 年度再編実施分)

平成 28 年 9 月

県立学校改革推進課

目次

I	評価の概要	1
1	評価の目的	1
2	評価の進め方	1
3	評価対象	1
4	評価区分とスケジュール	2

II	評価	3
1	普通科及び普通系専門学科・コース	3
	(1) 国際コミュニケーションコースの設置	3
2	職業系専門学科・コース	4
	(1) 福祉教育拠点校の設置	4
	(2) 福祉コースの設置	5

III	資料	6
1	アンケート調査	6
2	聴き取り調査	8
3	外部関係団体の意見	11
4	基礎データ	12

I 評価の概要

1 評価の目的

県立学校改革推進プラン（以下「プラン」という。）の実施状況及び成果や課題を把握し、より一層魅力ある県立学校づくりを推進するとともに、今後の高校改革に係る計画の策定に資することを目的として評価を実施します。

2 評価の進め方

（1）調査の時期

再編の実施年度から3年目に各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら評価を取りまとめます。

（2）アンケート調査、聴き取り調査等の実施

ア 再編実施校の生徒及び保護者を対象に、アンケート調査を実施します。なお、コース設置の場合にはコース選択者以外にも抽出してアンケート調査を実施します。

イ 再編実施校に訪問して、聴き取り調査を実施します。

ウ 再編実施校の近隣中学校等に調査票を送付して、聴き取り調査を実施します。

（3）評価の作成

ア 調査結果は「普通系専門学科及びコース」「職業系専門学科及びコース」「総合学科」「社会のニーズに対応した教育」「県立学校の適正規模・適正配置」の再編種別に大別・整理して、取りまとめを行います。

イ 取りまとめた調査結果について、教育関係団体、産業関係団体、その他外部関係団体から意見聴取を実施します。

ウ 意見聴取を踏まえ、再編種ごとに「成果と課題」及び「今後の取組の方向性」について取りまとめます。

（4）評価の公表

評価結果については、教育政策課の実施する政策評価（「教育委員会の点検・評価」）において公表します。

3 評価対象（平成25年度再編実施）

（1）柏井高校 普通科 「国際コミュニケーションコース」

（2）松戸向陽高校 普通科・福祉教養科 「福祉教育拠点校」

（3）松戸向陽高校 普通科 「福祉コース」

4 評価区分とスケジュール

再編年度	調査年度	普通科及び普通系専門学科 ・コース	職業系専門学科・コース	総合学科	社会のニーズに対応した教育	適正規模・適正配置
H24	H26				泉 ・地域連携アクティブスクール 天羽 ・地域連携アクティブスクール	
H25	H27	柏井 ・国際コミュニケーションコース	松戸向陽 ・福祉教育拠点校 ・福祉コース			
H26	H28	千葉女子 ・教員基礎コース 東葛飾 ・医療薬コース 佐倉 ・理教科 長狭 ・医療・福祉コース 安房 ・教員基礎コース	千葉工業 ・工業教育拠点校 ・コンソーシアム 長狭 ・医療・福祉コース		銚子 ・防災の学び 鶴舞桜が丘 ・緑地管理コース	
H27	H29	成田国際 ・グローバルスクール	茂原樟陽 ・農業教育拠点校 小見川 ・福祉コース		船橋古和釜 ・地域連携アクティブスクール 流山北 ・地域連携アクティブスクール 銚子商業 ・海洋環境コース 館山総合 ・観光の学び ・栽培環境コース	大原 ・統合
H28	H30	松尾 ・グローバル化に関する学び	千葉工業 ・理教工学科	小金 ・総合学科	東葛飾 ・中高一貫教育校 成東 ・単位制	
H29	H31	木更津 ・理教科 匝瑳 ・国際に関するコース	佐倉西 ・福祉コース			
H30	H32	我孫子 ・教員基礎コース 君津 ・教員基礎コース	千葉商業 ・学科再構成 流山 ・学科再構成 成田西陵 ・学科再構成 下総 ・学科再構成 多古 ・学科再構成	旭農業 ・学科再構成 大網 ・学科再構成 茂原樟陽 ・学科再構成 鶴舞桜が丘 ・学科再構成 君津商業 ・学科再構成	安房 ・単位制	
H31	H33	市川南 ・保育基礎コース	我孫子東 ・福祉コース	幕張総合 ・総合学科	市原八幡 ・防災の学び	市原 鶴舞桜が丘 ・統合

II 評価

1 普通科及び普通系専門学科・コース

(1) 国際コミュニケーションコースの設置

英語科、国際科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 既設の英語科については、社会の変化や地域のニーズ、生徒の志願状況、既設校の実態等を踏まえ、国際的な舞台で英語を駆使して活躍できる人材の育成を目指し、豊かな国際感覚を養う国際教育への転換など、必要に応じて学科の改編を行います。

ア 国際コミュニケーションコースの設置（第1次実施プログラム）

(ア) 対象校（実施年度）

- ・ 柏井高校 普通科（平成25年度）

(イ) 再編の内容

- ・ グローバル化など社会の変化に対応するため、豊かな国際感覚を養う国際教育を視野に入れ、柏井高校に国際コミュニケーションコースを設置します。
- ・ 英語科は、平成25年度入試から募集を停止します。

イ 実施状況

- ・ 2年生からコースの選択が可能であり、外国語（「英語」「中国語」「韓国語」など）に興味・関心の高い生徒が多く希望しています（平成27年度3年生は63名）。
- ・ 「中国語」や「韓国語」の選択が可能であり（平成27年度は中国語選択者25名、韓国語選択者38名）、英語圏以外の言語や文化について学習しています。「異文化研究」の英語によるプレゼンテーションや「国際関係」のテーマ発表及び質疑応答でコミュニケーション力の向上も目指しています。

ウ まとめ

■成果と課題（○成果・●課題）

- コースの選択を前提に入学している生徒もいます。そのため全体として学習への取組はよく、学習内容に対する満足度も高いなど生徒のニーズに応えたコースとなっていると言えます。
- 卒業後、学習内容に関連した大学・専門学校・企業等へ進む生徒もおり、興味・関心を育みつつ、社会人としての技能や職業観の育成に寄与していると考えられます。
- コースの学習内容や進路の状況などが十分理解されていないという中学校からの指摘があり、今まで以上に丁寧に広報に努めていく必要があります。

■今後の取組の方向性

- 充実した教育活動が維持できるよう、引き続き支援するとともに、コースに関する効果的な広報の在り方について検討します。

2 職業系専門学科・コース

(1) 福祉教育拠点校の設置

福祉科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 福祉教育の手法について研究を推進し、県全体の福祉教育のレベルアップを図るため、福祉教育の拠点校を設置します。
拠点校と福祉コースや看護科を有する学校とのネットワークを構築することにより、学校間の連携を強化し、地域や県全体の福祉教育の充実を図ります。

ア 福祉教育拠点校の設置（第1次実施プログラム）

(ア) 対象校（実施年度）

- ・松戸向陽高校（平成25年度）

(イ) 再編の内容

- ・県全体の福祉教育の充実を図るため、松戸向陽高校を福祉教育の拠点校とします。
- ・拠点校を中心に、県内福祉コース、福祉系列設置校とのネットワークを構築し、福祉に関する知識や技術の習得などの研修を重ねることで、福祉教育のレベルアップを図ります。

イ 実施状況

- ・拠点校設置の準備段階から、行政機関、福祉系大学、地域の社会福祉施設などとの連携強化を目指しました。
- ・コース及び福祉系列設置校間のネットワークの構築や情報共有に向けた様々な取組を実施しています。
- ・コース及び福祉系列設置校への介護職員初任者研修申請手続きの支援を行っています。

ウ まとめ

■成果と課題（○成果・●課題）

- 千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会（以下「福祉教育部会」という）を活用して、各種情報提供や、福祉教育のレベルアップに向けた教員相互の研究授業による研修等、拠点校としての取組が進んでいます。
- 小学校や中学校などへの福祉教育に関する啓発活動や、地域との連携強化の在り方等について検討していく必要があります。

■今後の取組の方向性

- コース及び福祉系列設置校への様々な連携及び支援がますます必要となっていく中で、拠点校としての取組を引き続き支援していきます。
- ネットワークの更なる充実に向けて、今後も行政機関・社会福祉協議会・社会福祉施設との連携強化のための具体的な方策を検討していきます。

(2) 福祉コースの設置

福祉科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 地域や時代のニーズ、地域バランス等を踏まえ、生徒の地元への就職や地域の活性化等を考慮し、福祉関係の系列（総合学科）やコースを5校程度に設置します。

ア 福祉コースの設置（第1次実施プログラム）

(ア) 対象校（実施年度）

- ・松戸向陽高校 普通科（平成25年度）

(イ) 再編の内容

- ・福祉教育の拠点校化に併せて、学校全体で福祉教育を推進する環境をつくるため、松戸向陽高校の普通科に福祉コースを設置します。
- ・主として、高齢者の介護に必要な専門知識や技術を習得するとともに、介護員としての気遣いや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成します。

イ 実施状況

- ・3年生からコースの選択が可能であり、1年生での「社会福祉基礎」の学習を踏まえ、本人の希望や適性等を基に選抜しています（平成27年度3年生は30名）。
- ・コース選択者は、普通科においても多くの福祉の専門科目（10単位）を学ぶことが可能であり、介護職員初任者研修修了者の資格も取得できます。福祉分野の人材育成事業等を利用した介護実習も実施しています。

ウ まとめ

■成果と課題（○成果・●課題）

- 福祉に関する興味・関心の高い生徒や介護を身近なものとする生徒が多く、資格取得への意欲も高くなっています。平成27年度はコース選択者全員が介護職員初任者研修修了者の資格を取得しました。学習内容に対する満足度も非常に高く生徒のニーズに応えていると言えます。
- 資格を活かした就職や、より高い資格の取得を目指した進学など、社会の要請等に応えた人材を育成し、職業的自立に向けた能力や態度を育てていると言えます。
- 中学校がきめ細かい情報提供を望んでおり、今まで以上により確実に広報に努めていく必要があります。

■今後の取組の方向性

- 充実した教育活動が維持できるよう、引き続き支援するとともに、コースに関する効果的な広報の在り方について検討します。

III 資料

1 アンケート調査

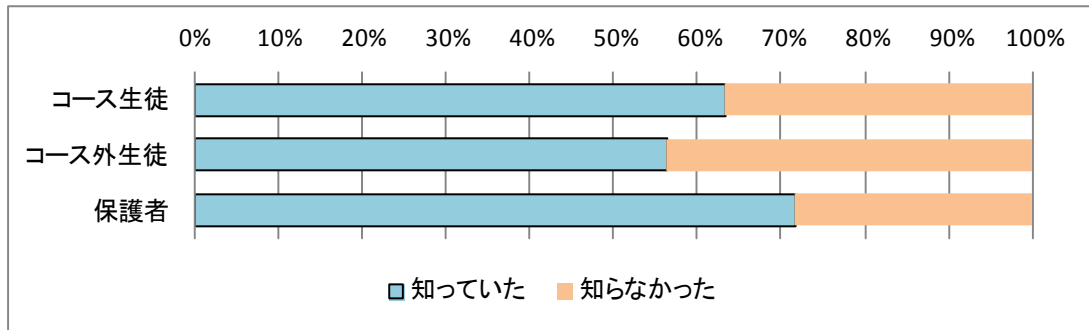
(1) 国際コミュニケーションコース（柏井高校）

ア アンケートの実施

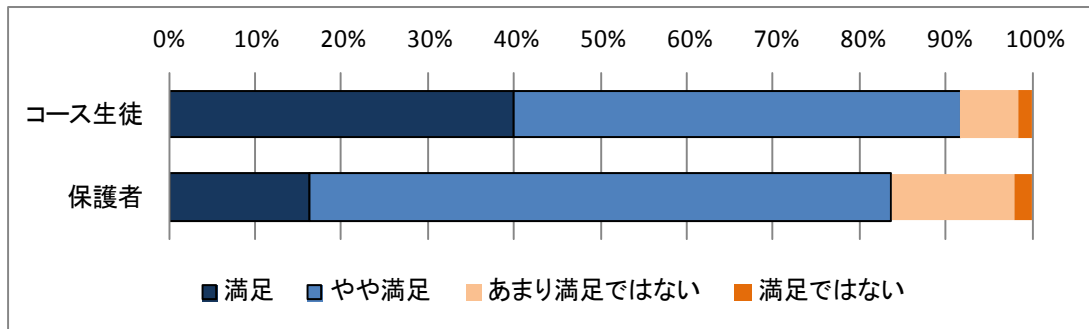
(ア) 実施時期 平成 28 年 1 月

(イ) 回答数 コース生徒 60、コース外生徒 55、コース選択者の保護者 54

イ 受検前にコースがあることを知っていましたか

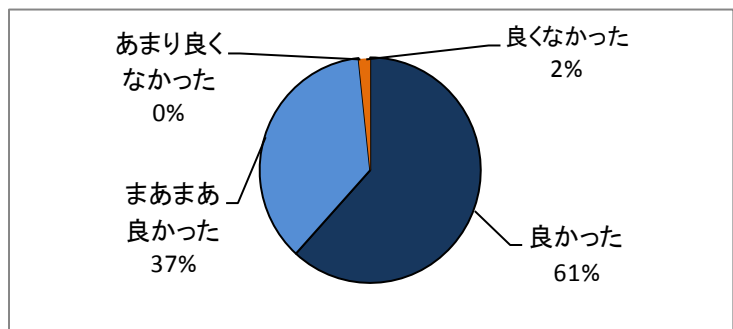


ウ コースの授業内容に満足していますか



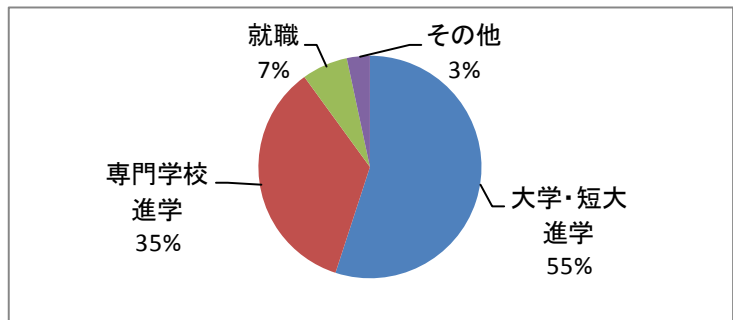
エ コースの選択について

- ・一番学びたかった韓国語の能力が身に付いたから。
- ・中国のネイティブの先生から教えて頂くことができた。
- ・異文化のことについて学べて良い経験になった。



オ コース選択者の進路状況

- ・外国語・国際関係の大学
- ・英語・観光系の専門学校
- ・ホテルに就職
- ・留学



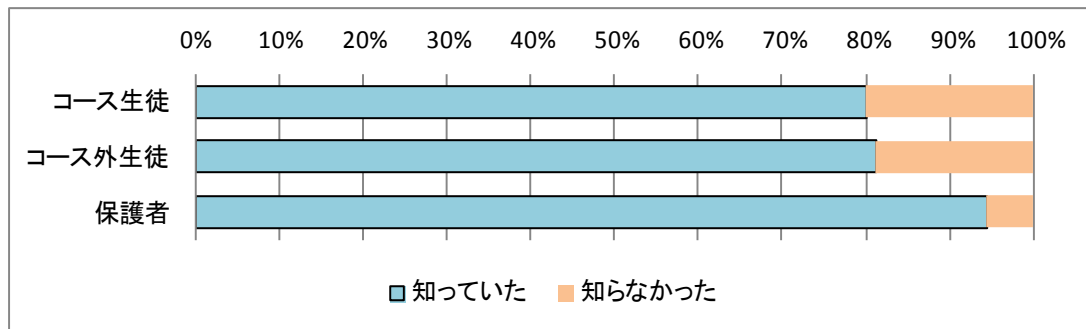
(2) 福祉コース（松戸向陽高校）

ア アンケートの実施

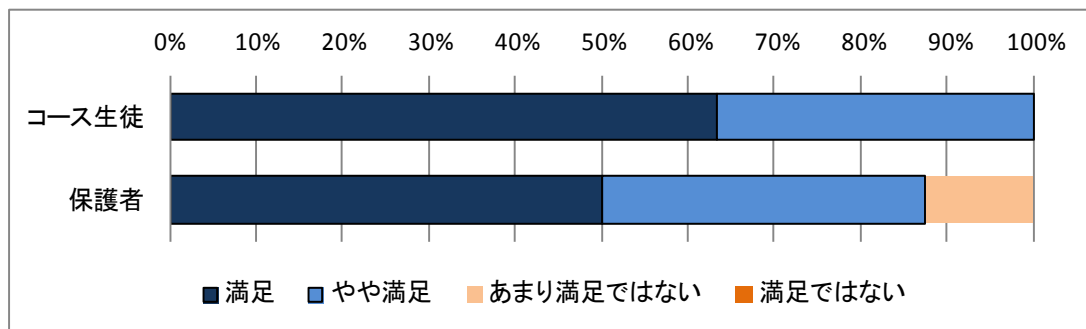
(ア) 実施時期 平成 28 年 1 月

(イ) 回答数 コース生徒 30、コース外生徒 33、コース選択者の保護者 19

イ 受検前にコースがあることを知っていましたか

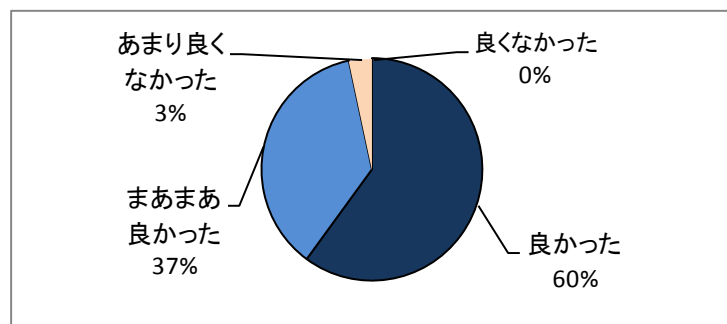


ウ コースの授業内容に満足していますか



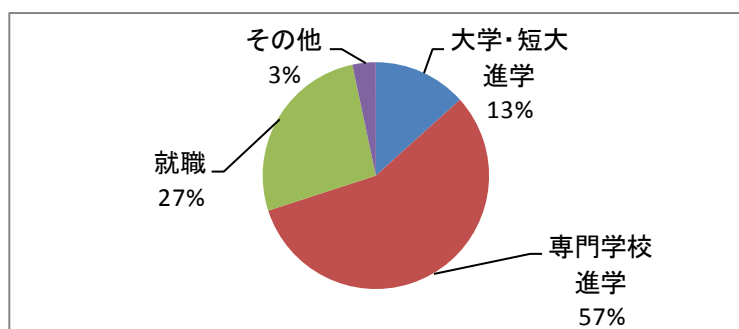
エ コースの選択について

- ・介護だけでなく幅広く福祉という分野を知ることが出来た。
- ・現在、日本は超高齢社会となり家族での介護も増えている。その中で知識を身に付け、周りの困っている人の相談にのれるようになったから。
- ・専門的な知識を身に付けられるし、思ってたより楽しいから。



オ コース選択者の進路状況

- ・福祉関係の大学
- ・福祉・保育系の専門学校
- ・介護施設に就職
- ・就職支援施設に就職



2 聴き取り調査

(1) 国際コミュニケーションコース（柏井高校）

ア 柏井高校への聴き取り（抜粋）

(ア) コースの目標や特色

常駐の外国語指導助手（AL T : Assistant Language Teacher。以下「AL T」という。）との日々のコミュニケーションや3種類の語学研修（海外・国内・校内）を通して国際感覚を養う。

(イ) 学習への取組

外国語科目（「英語」「中国語」「韓国語」）や学校設定科目（「異文化研究」「国際関係」）は少人数で授業が展開されていることもあり、生徒の学習への取組はよい。

(ウ) コース設置の成果

外国語教育は、英語科があった時から、本校の特色の重要な柱の1つである。中学生、保護者、中学校、地域からも期待されているので、このまま継続したい。

(エ) 現在の課題

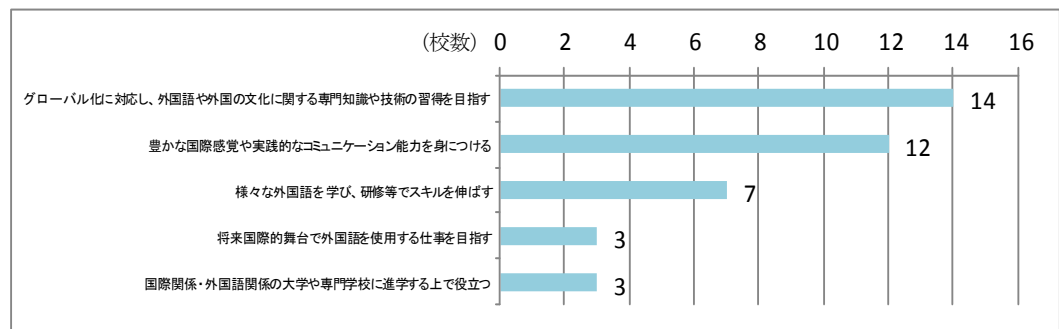
平成 28 年度は、AL T の配置が2人から1人になり、AL T の業務量が増えてしまうため、効率性は考えながらもAL T がゆとりを持って従事できるよう業務内容を精査する必要がある。

(オ) 近隣中学校の状況

中学校訪問などをすると、「①英語だけではなくて、第2外国語（「中国語」「韓国語」）も勉強できる、②語学研修がある、③AL T が常駐している」といったコメントをいただくことが多い。

イ 近隣中学校（20校）への聴き取り

(ア) コースの取組として良いもの（各中学校2つまで）



(イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・英語などの授業で、他校のお手本となるような実践的コミュニケーション能力の身に付く授業を進めていただけるとありがたい。
- ・実際にどんな活動をしているのか、アピールしていただきたい。

(2) 福祉教育拠点校（松戸向陽高校）

ア 松戸向陽高校への聴き取り（抜粋）

(ア) 拠点校設置に向けた準備

拠点校準備会議を設置し、拠点校の役割、コース・系列設置校の役割、拠点校とコース・系列設置校の連携、国・県との連携、大学等の連携、地域との連携などを明確化し、相互理解を図った。校内に校内準備委員会を設置し、福祉コースのコンセプト、組織分掌、教育課程等を検討した。

(イ) 拠点校としての取組

- ・ 国や県からの情報を、
 - ① F A Xやメールでタイムリーに関係校に周知・共有する。
 - ② 福祉教育部会研修会で関係校に伝達する。
 - ③ 福祉教育部会報で関係校に周知・共有する。
- ・ 介護職員初任者研修申請手続等の相談窓口となる。
- ・ 福祉教育部会を母体とした研修会を実施する。
- ・ 看護科を有する高校の教員の研修の場とする。
- ・ 拠点校教員の技術向上のため、相互の授業研究や、各種研修会へ教員を派遣している。

(ウ) 今後の予定

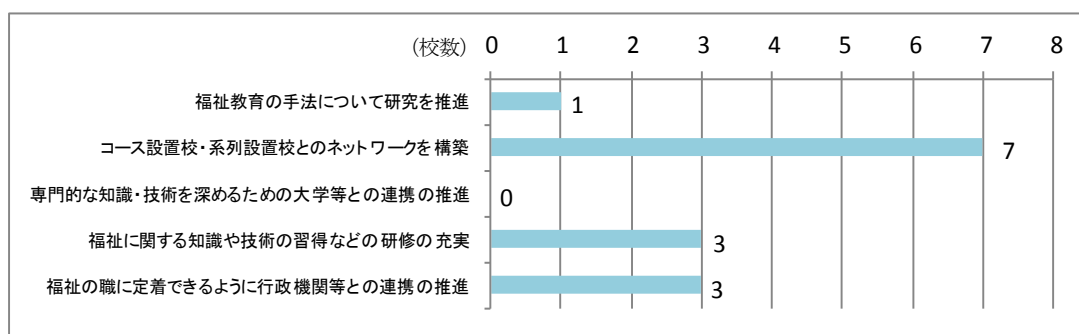
小学校や中学校など、地域との連携の強化を検討する。

(エ) 現在の課題

コースと学科の差別化・共存が課題である。福祉教養科への志願者が、福祉コースを目指して普通科へ流れてしまう傾向が見られる。学科の定員が確保できない。

イ 部会加盟校（8校）への聴き取り

(ア) 拠点校の取組として期待したいもの（各校2つまで）



(イ) 加盟校からの意見（抜粋）

- ・ 研修の機会を更に増やして欲しい。行政機関だけでなく、千葉県社会福祉協議会との連絡を密にして各学校にてご講義願いたい。
- ・ 福祉教育の推進・充実には、知事部局（千葉県健康福祉部等）との連携強化も必要である。知事部局には、福祉人材の確保に係る推進事業などを通して、教育機関が必要としている支援にも目を向けていただきたい。

(3) 福祉コース（松戸向陽高校）

ア 松戸向陽高校への聴き取り（抜粋）

(ア) コースの目標や特色

1年生で学習する「社会福祉基礎」を土台として、コースではより幅広く福祉を学ぶことで、対人援助の基礎を身に付けさせるとともに、福祉のリーダーとなり得る人材を養成する。なおコースでは、介護職員初任者研修の受講、修了者の資格取得が可能である。

(イ) 学習への取組

「資格を取得する」という目標達成に向け、極めて高い出席率を維持しつつ、非常に前向きに取り組んでいる。

(ウ) コース設置の成果

資格取得という目的を持って学校生活を送り、高い出席率（99.5%）を維持できた。専門的な学習をとおして、より一層、福祉マインドの高まりがみられた。

(エ) 現在の課題

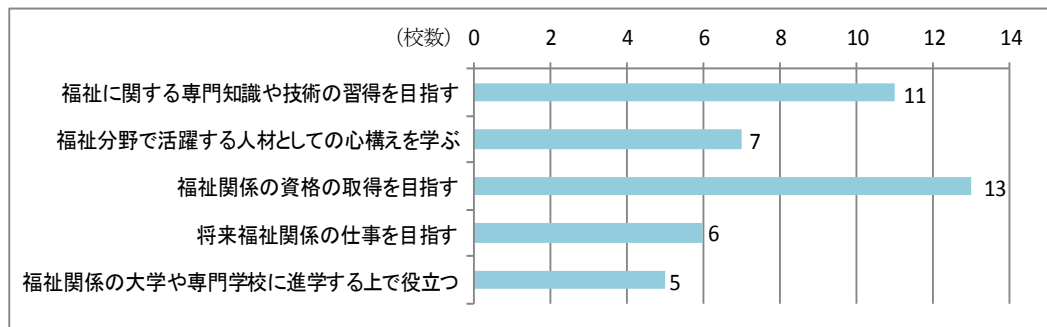
大学や専門学校、福祉施設との連携の強化が課題である。

(オ) 近隣中学校の状況

コースへの理解もあり、高く評価されている。

イ 近隣中学校（21校）への聴き取り

(ア) コースの取組として良いもの（各中学校2つまで）



(イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・将来、介護関係の職を目指す中学生が増えている。福祉コースの定員増を願いたい。
- ・志ある若い人たちにとって福祉関係の職場が魅力あるものにするためには、そこで働く人たちの待遇改善が先決である。
- ・福祉コースや福祉教養科の実践の様子がなかなか伝わってこない（HPも有効だが見る人は限られている）。地域誌や一般紙、TV等で、実践の様子を広くアナウンスしてはどうか。

3 外部関係団体の意見

(1) 意見聴取先

- | | |
|------------------|---------------------|
| ■ 千葉県高等学校長協会 | ■ 千葉県都市教育長協議会 |
| ■ 千葉県中学校長会 | ■ 千葉県町村教育長協議会 |
| ■ 船橋市進路指導連絡協議会 | ■ 千葉県社会福祉協議会 |
| ■ 松戸市進路指導連絡協議会 | ■ 千葉県健康福祉部 |
| ■ 千葉県教育研究会進路指導部会 | ■ 神田外語大学 |
| ■ 千葉県 PTA 連絡協議会 | ■ 東京 YMCA 国際ホテル専門学校 |

(2) 主な意見

ア 全体を通しての意見

- ・ 学びの内容や取組は、非常に良い。
- ・ 進路状況については、今後も注視していく必要性があり、ある程度の期間を経て再度評価するべきである。
- ・ 高校側も広報に取り組んでいるが、再編の経緯や再編前後の学習内容の違いが中学校側に十分に理解されているのか不安である。
- ・ 各コースへのアンケート結果から、選択した生徒の「学びへの楽しさ、喜び」を感じ取ることができ、早くも成果がもたらされたのではと感じた。多くの子ども達にもこの学びへの満足感が広がる事を願いたい。
- ・ アンケート結果を広く公開すれば、子ども達の進路選択の一助になると思う。

イ 国際コミュニケーションコース（柏井高校）についての意見

- ・ コースを選択した生徒とALTのコミュニケーションの時間が十分に取れているようである。専門学校での学びにもスムーズに入っていけたようであり、専門学校としてもありがたい。
- ・ 英語以外の言語、文化に触れるよい機会になっているのではないか。広い視野を持った人材育成の観点から評価できる。

ウ 福祉教育拠点校（松戸向陽高校）についての意見

- ・ 福祉専門職を養成する高校として、平成27年度の介護福祉士国家試験の合格率が91.7%であることは、高く評価されてよい。
- ・ 小中学生への福祉の仕事の啓発については、今後は福祉教育拠点校を活用して行うことも検討できる。

エ 福祉コース（松戸向陽高校）についての意見

- ・ 福祉教育の充実のための福祉コースの設置は評価できる。
- ・ 福祉関係に進学や就職しなくても、高校生の中に介護や福祉に関して学んでおくことは大変よいことである。
- ・ 専門学科である福祉教養科とは別に普通科の福祉コースが設置されているので、それぞれのわかりやすい説明、周知が必要ではないか。

4 基礎データ

(1) 志願状況

ア 柏井高校・普通科

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
H24	280	168 (60%)	270	1.61	112	133	1.19	他に英語科 40 名 を募集
H25	320	192 (60%)	324	1.69	128	158	1.23	コース設置
H26	360	216 (60%)	352	1.63	144	179	1.24	
H27	360	216 (60%)	338	1.56	144	155	1.08	
H28	360	216 (60%)	294	1.36	145	149	1.03	

イ 松戸向陽高校・普通科

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
H24	240	144 (60%)	276	1.92	96	129	1.34	
H25	240	144 (60%)	249	1.73	96	115	1.20	コース設置
H26	280	168 (60%)	217	1.29	112	105	0.94	
H27	240	144 (60%)	187	1.30	96	102	1.06	
H28	240	144 (60%)	206	1.43	96	114	1.19	

(2) 平成 27 年度（平成 28 年 3 月末）進路状況

ア 柏井高校・国際コミュニケーションコース選択者

種 別	人 数	(%)	主な進路先
大学・短大	29	46.0	麗澤大学、明海大学、神田外語大学、 千葉商科大学、淑徳大学、千葉工業大学
専門学校等	21	33.3	神田外語学院、 東京 YMCA 国際ホテル専門学校
就 職	3	4.8	プリンスホテル、日本ビューホテル、 東京ヤサカ観光バス
そ の 他	10	15.9	進学予定
	63	100.0	

イ 松戸向陽高校・福祉コース選択者

種 別	人 数	(%)	主な進路先
大学・短大	4	13.3	東京基督教大学、千葉商科大学、 江戸川大学、淑徳大学短期大学部
専門学校等	17	56.7	道灌山学園保育専門学校、 東京福祉専門学校、竹早教育保育士養成所
就 職	8	26.7	社会福祉法人八千代美香会朋松苑、 社会福祉法人聖隷福祉事業団
そ の 他	1	3.3	就職予定
	30	100.0	

(3) 資格取得状況

ア 松戸向陽高校・福祉コース選択者

資 格	受験者	合格者	(%)
介護職員初任者研修修了者	30	30	100.0